

様式－⑥

整理番号		受験番号	
------	--	------	--

**2027年度**  
**早稲田大学大学院教育学研究科高度教職実践専攻 入学試験**  
**教職経験確認票（高等学校用）**

フリガナ 氏 名	
-------------	--

※ 記入は、所属長に依頼すること。

所属長殿

本確認票は、出願者が申請する「学校臨床実習Ⅰ」、「学校臨床実習Ⅱ」の単位認定（履修免除）に際して使用するものです。必要事項を漏れなく記入し、ご捺印の上、本票を厳封し、出願者にお渡しください。なお、記入に際してご不明な点がありましたら、大学院教育学研究科事務所までお問い合わせください。

早稲田大学大学院教育学研究科事務所 入試係

Tel. 03-3208-0529

Fax. 03-3202-2549

e-Mail : [ted-admission@list.waseda.jp](mailto:ted-admission@list.waseda.jp)

評価記号	A	B	C	F
基準 (目安)	当該項目について十分達成している。	当該項目について達成している。	当該項目について達成しているが若干の課題を残している。	当該項目について達成していない。

※ 次ページ以降の項目について上記の基準「A, B, C, F」に基づき、項目それぞれについてご記入ください。

「A, B, C, F」のご記入が困難な項目については、「—」を記入してください。

領域	分野	項目	A, B, C, F
① 教育課程の編成及び実施	A 教育課程の編成・実施	1. 指導と一体化した評価の在り方について理解を深め、実践している。	
		2. 教科横断的な教育課程編成を理解し、実施に必要な技能や知識を積極的に身に付けている。	
② 教科等の実践的な指導方法	B 教科指導	1. 単元指導計画に基づき指導案を作成し、授業実践の向上に努めている。	
		2. 基礎基本の定着を図る授業実践を工夫している。	
		3. 指導力向上や教材研究のために、自ら進んで研究・研修に努めている。	
		4. ICT機器など生徒の学習意欲や学習効果を高める教材・教具を開発し、実践に活用している。	
		5. 生徒の興味・関心を高め、自らの考え方や発想を引き出す工夫をしている。	
		6. 授業中の行動観察、独自のテスト、標準化されたテストなどを活用し、総合的に評価している。	
		7. 課題を明確にして授業参観を通し自らの授業を省察し、積極的な改善に努めている。	
	C 総合的な学習の時間	1. 生徒の興味関心を引き出し、生き方を考えさせる授業を工夫している。	
		2. 課題の解決や探究的な活動に主体的・意欲的に取り組ませる工夫をしている。	
	D 道徳	1. 日常的な活動の中で、道徳性の定着を促進するような工夫をしている。	
	E 特別活動	1. HR活動、生徒会活動、学校行事等の指導計画に基づき、適切に実践している。	
		2. 学校生活の充実と向上を目指し、HR活動、生徒会活動、学校行事等における指導を工夫している。	
		3. 望ましい人間関係を形成し、自主的、実践的な態度を育成するように努めている。	
	③ 生徒指導及び教育相談	F 生徒指導 (生活指導)	1. 生徒とのコミュニケーションを通して生徒を理解し、好ましい人間関係づくりを行っている。
2. 生徒の実態に応じて、適切に生徒指導に取り組んでいる。			
3. 校内外の関係者との連携・協力体制づくりに努めている。			
4. 規律ある学校生活や授業秩序が保てるよう工夫している。			
G キャリア教育 ・進路指導		1. 年間指導計画に基づき、望ましい勤労観・職業観の育成を心がけた指導を行っている。	
		2. キャリア教育について理解を深め、体験的学習や面談を通し、生徒が自己理解を深める指導を行っている。	
		3. 生徒が自らの生き方について考え、主体的に進路を選択する能力や態度の育成に関する指導を行うことができる。	
		4. 生徒の実態に応じた組織的なキャリア教育・進路指導に努めている。	
H 特別支援教育		1. 特別な教育的ニーズのある生徒について自ら気づき支援に努めている。	
		2. 特別支援教育の校内委員会での協議やチーム支援に積極的に参加し学んでいる。	
I 部活動指導		1. 生徒の状況を踏まえた部活動指導に積極的に取り組んでいる。	
		2. 部活動内の生徒同士の関係を把握し、良好な人間関係、適切な協力関係を育てる指導を行っている。	
J 健康安全指導		1. 保健計画・安全計画に基づき、生徒の実態に即した健康安全指導を行うことができる。	
		2. 心身の健康に配慮を要する生徒を把握し、学校生活に必要な指導を適切に行っている。	

領域	分野	項目	A, B, C, F
④学級経営及び学校経営	K 学級経営	1. 生徒の状況と学校・学年の目標を踏まえた学級経営案を作成している。	
		2. 望ましい学級集団づくりをしている。	
		3. 学級経営における危機管理について理解し、予防的危機管理の実践に努めている。	
		4. 同僚や家庭・地域と連携・協力した学級経営を行っている。	
		5. 自らの学級経営を適切に評価し、その結果を学級経営に生かすよう工夫・改善している。	
	L 校務の処理・校務分掌	1. 担当分掌における自己の役割を十分に理解し、会議などに積極的に参加し、分掌業務の効果的な遂行に取り組んでいる。	
		2. 担当分掌の遂行にあたって、校内の連携を図っている。	
		3. 担当分掌の遂行にあたって、学習指導・生徒指導との時間配分について自ら管理することができる。	
		4. 保護者ならびにPTA等の関係機関との情報の共有化・相互理解に努めている。	
在り方 ⑤学校教育と教員の姿勢	M 教師としての自覚及び職務遂行の姿勢	1. 教師としての職責や倫理、義務（法令遵守や秘密の保持等）を自覚して職務に取り組んでいる。	
		2. 困難な課題や状況の変化が生じて、担当する職務に責任をもって取り組んでいる。	
		3. 同僚や管理職とのコミュニケーションを図り、連携・協力している。	
		4. 自己の能力向上のために、自己啓発や研修に努めている。	
その他	上記以外に特に記載すべき事項がありましたら、ご記入ください。特にない場合は、「記入事項なし」とお書きください。		

年 月 日

所在地

電話番号

所属学校名

所属長氏名

公印